

第 70 回日本病理学会秋期特別総会  
令和 6/2024 年度 学術研究賞演説（A演説）応募抄録

ふりがな 応募者氏名		会員 番号	
所属施設		職名	
所属住所	〒		
	Tel:		Fax:
	e-mail:		
演題名			

選考用抄録（900 字以内）記述の中で論文報告しているものについては、業績一覧の番号を附してください。

令和6/2024年度 学術研究賞(A演説)応募者履歴書

西暦 年 月 日現在

(ふりがな) 応募者氏名		性別	男 女
生年月日	西暦 年 月 日 ( 才)		
本学会での 受賞歴	(受賞年・賞の名称・タイトル)		
学位 および 病理関係資格等	(取得年・学位/資格の名称)		
学歴(大学以降) および 職歴			
Pathology International へ の総説投稿	以下について、ご了承後される場合はチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 受賞した場合は Pathology International へ総説を投稿することを約束します。		
Pathology International へ の論文出版歴	<input type="checkbox"/> 有 ( 編) <input type="checkbox"/> 無 (共著を含む。有る場合は業績欄に記載してください)		

## I. 学術研究賞演説（A演説）選考用関連論文一覧

20 編以内。以下の記載例に倣ってください。

著者は省略せず全員を記載してください。応募者に下線を付してください。

別刷をつけた業績の先頭に「○」印をつけてください。

記載例：

論文

○1. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Expression of ZRRF1 and its biological role in invasive ductal carcinoma of the breast. *Pathol Int* 50; 500-505, 2018

2. 田中二郎, 鈴木一郎, 山田三郎, 伊藤四郎. 浸潤性乳管癌の間質形成と臨床的特性. *診断病理*, 50; 175-180, 2017

著書

1. Suzuki I, Tanaka J: Prognostic markers for invasive breast cancer. *Histopathology*. (Ed) Yamada S, Ito S, Pathology Press, Tokyo, p.175-180, 2013

2. 田中二郎, 鈴木一郎: 乳癌の病理像と臨床像. *組織病理* (山田三郎, 伊藤四郎・編集). 病理書院, p.175-180, 2015

## II. (参考資料) Pathology International 誌掲載論文一覧

以下の要領・記載例に従って作成してください。

・Pathology International 誌 (Acta Pathologica Japonica 誌を含む) に論文掲載が有る場合には、論文業績 (20 編以内) とは別途記載してください。上記論文業績 20 編に含まれる場合にも再度提示してください。総説、原著論文、症例報告、その他に分けて記載してください。

記載例：

### II. Pathology International 誌掲載論文一覧 (全 6 編)

総説

1. Yamada, S., Tanaka, J., and Suzuki I. New classification of breast cancer in Japan.

**Pathology Int**, 58, 104-1016, 2008.

原著論文

2. Tanaka J, Yamada S, Suzuki I\*. Single cell RNA analysis of ZRRF1-induce breast cancer mice model. **Pathol Int** 72; 500-505, 2022

3. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Immunohistochemical analysis of ZRRF1 in invasive ductal carcinoma of the breast. **Pathol Int** 68; 203-210, 2018

4. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Cloning of signaling molecule ZRRF1 in breast cancer cell line MCF7. **Pathol Int** 60; 124-130, 2010

症例報告

5. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. A case of invasive ductal carcinoma of the breast expressing ZRRF1. **Pathol Int** 68; 180-188, 2018

その他 (letter to the editor)

6. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Technical notes for immunostaining for invasive ductal carcinoma of the breast. **Pathol Int** 66; 194-199, 2016

※ 代表的な自著論文 5 編以内の別刷り